

聖霊降臨節第10週 歓迎礼拝

2015年7月26日 第一礼拝(8:00～) 歓迎礼拝(10:30～) 夕拝(19:30～)

第1部	ブレイズ アワー PRAISE HOUR (賛美の時)	※歓迎の賛美	—	同
第2部	バイブル アワー BIBLE HOUR (みことばの時)	聖書朗読 『コリント人への手紙 第二』 4章7-10節	司	会者
			(新改訳349ページ、新共同訳329ページ)		
		黙想	—	同
		メッセージ	「こわれものの私」	近伸之牧師
		黙想	—	同
		※応答の賛美	新聖歌208「イエスは愛で満たす」	—
		感謝の献金	(新聖歌58)	—
		感謝の祈り	山崎	為明兄
		諸案内	(来信および集会案内)	司会者
		諸報告	(来会者紹介および報告)	近伸之牧師
		※頌栄の賛美	新聖歌198「GOD BLESS YOU」(1番のみ)	—
		※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	—
		※祝福の祈り	近	伸之牧師
		※後奏	(新聖歌59-7)	—

第3部 フェロウシップ アワー
FELLOWSHIP HOUR (交わりの時)
愛餐会

※印の所でご起立をお願いします。 牧師のサイン:

司会:	片山 勝三兄	音響・映像:	近伸之牧師	CS担当:	小林 洋子姉
集会:	笹川 清子姉	賛美リード:	賛美チーム	説教の録画:	山崎 敬典兄
				掃除:	片山 麻美姉

説教メモ

- 画家ゴッホの青年時代の経験。本当の「こわれもの」は人間であることに気づく。晩年、彼は精神をこわして自殺を図るが、彼の作品が胸を打つのは、儂さと優しさが絵の中でいつも繋がっているからである。
- パウロは、自らを「土の器」と呼んだ。力を誇示し、正義を自認していた彼は、復活のイエスに出会ったことで人生が変えられた。だがそれは強さを誇る道ではなく、自らの弱さを認め、神に信頼する道だった。
- 人は決して一人では生きられない(「ひまわり」の本数に注目せよ)。たとえ孤独に思われても、神の御手はいつも差しのばされている。その愛は、私たちの罪のために死なれたイエスの生涯に集約されている。

個人、団体からの来信

2015年7月26日

平和夕拝の案内(8/9主日 午後7:00 新潟福音教会にて) / 教団定期便 / 「PBAだより」vol.641 / 新潟福音放送協力会よりニュースレターNo.210 / KGK 礎 70 / 新潟聖書学院より、「聖ヶ丘通信」第90号、「会報」32号、ほか

先週の集会出席者数

7/19(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 子ども 成人男性-	幼児女子3 小学女子2 中学女子- 高校女子- 6名 成人女性1
7/19(日)	第一礼拝	男2 女4 計6	毎月、実用書道教室を開催
	第二礼拝	男11 女19 計30 子6	7/20(月・祝) 月曜家庭集会 (休会)
	夕拝	男1 女-	7/22(水) 救 禱 会 男3 女5 計8
			7/24(金) しゃべり場タビタ 男- 女5 子1
			7/24(金) 金曜 祈 禱 会 男- 女4 計4

諸集会のご案内

	※毎月、実用書道教室を開催		
7/27(月) 20:00～	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅	
7/29(水) 19:30～	バルナバ祈禱会	教会堂	司会: 横堀 信子姉
7/31(金) 13:30～	しゃべり場タビタ	渡辺智子姉宅	問合せ先: 渡辺 智子姉
7/31(金) 夜	金曜祈禱会	教会堂	

8/2(日) 聖霊降臨節第11週

第一礼拝 8:00～	司会: 近伸之牧師 説教: 近伸之牧師	音響: 片山 勝三兄 献金: 片山 勝三兄	聖餐準備: 担当役員 配餐: 横堀 正美兄
教会学校 9:00～	担当: 佐藤 繁実兄		
聖餐礼拝 10:30～	司会: 近伸之牧師 集会: 小川 柳子姉 横堀 信子姉	音響・映像: 片山 勝三兄 演奏・操作: 横山 洋平兄 録画: 山崎 敬典兄	感謝祈禱: 森田 澄子姉 配餐: 横堀 正美兄 掃除: 小林 洋子姉
礼拝について (聖餐礼拝)	聖餐: 46 頌栄: 63 派遣: 54 「主の祈り」		
主日の予定	CS教師会	礼拝後	担当: 伊東一馬兄
夕拝 19:30～	司会・説教 近伸之牧師		

報 告

- 本日の予定
歓迎礼拝の恵みを感謝します。この後は第3部として愛餐会(昼食)の時を持ちます。どうぞお気軽にご参加ください。また、午後2:00より同じく礼拝堂において賛美練習を行いますので、よろしくお願いたします。
- 新潟聖書学院のため
学院より「聖ヶ丘通信」や「会報」に加えて、「第16回シンポジウム」の案内(8/20木、21金)、OPEN CAMPUSの案内(9/19土)、そして夏期献金のお願いが届いています。掲示物や配布物をご覧ください、学院のために祈りささげてゆきましょう。
- 先週の集会参加者
7/24(金) しゃべり場タビタに岩名美咲さんが出席されました。

週 Weekly Bulletin 報

「みみずのたわごと」という言葉があります。それは、みみずが「もし地球上に自分たちの住む土がなくなったらどうしよう」と心配していることを言うらしいのです。神さまからご覧になると、私たち人間の心配というのは、こんな「みみずのたわごと」のようなものかもしれません。

イエス・キリストは“山上の垂訓”といわれる説教の中で「何を食べようか、何を飲もうかと心配したり、また、からだのことで、何を着ようかと心配したりしてはいけません。いのちは食べ物よりたいせつなもの、からだは着物よりたいせつなものでありませんか」と言われました。

それは、私たちにいのちを与えてくださったお方は神さまなのだから、その神さまがいのちを維持するために必要なものは必ず与えてくださるはずではありませんか、というわけです。たしかに神さまは、人間のいのちというかけがえのない尊いものをくださったとすれば、それ以下のもの、食べ物とか着物とかを惜しんだり、不注意に忘れてたりなさるはずがありません。

その例として、「空の鳥を見なさい」と言われ、「野のゆりがどうして育つのか、よくわきまなさい」とも言われ、「あなたがたは、鳥よりも、もっとすぐれたものではありませんか」「ましてあなたがたに、よくして下さらないわけがありませんか」とおっしゃるのです。

空の鳥をみごとに養われ、野の花を美しく装いなさる神さま。そんな空の鳥や野の花よりも、はるかに勝る存在として造られた人間を、神さまが放っておかれるはずがないではありませんか。「心配するのは神さまのお仕事、信じておまかせするのが私たちの仕事」これを取り違えないようにしたいものです。

それに興味深いことは、この「思い煩い」とか「心配する」とかに訳されているメリムナオーというギリシア語には、分裂するという意味があるそうです。ですから、心配するというのは、心が千々に乱れてまとまりがない、ということでしょうか。どうして心が乱れるかという、自分の生活、また人生にとって、何が一番なのか、何を第一として生きたら良いかわからないからのようです。

ですからキリストはこう教えておられるのです。「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。だから、あすのための心配は無用です。あすのことはあすが心配します。労苦はその日その日に、十分あります。」

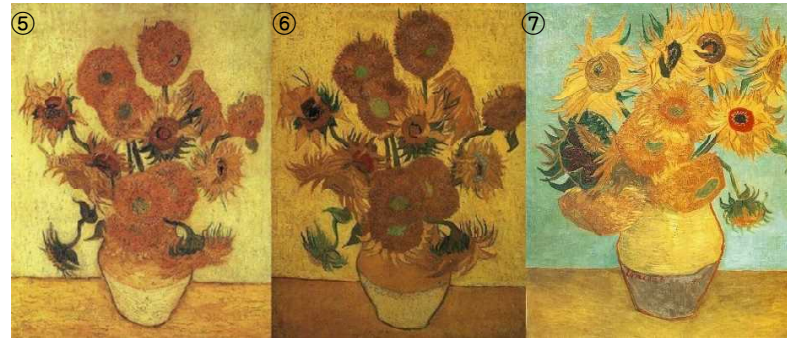
(『マタイの福音書』6章33、34節)

よけいなことに心をふりまわされることなく、神さまを第一として信頼して生きることです。



ゴッホ作『ひまわり』

- ①アメリカの個人所有
- ②日本の個人所有(焼失)
- ③ミュンヘンの美術館所蔵
- ④ロンドンの美術館所蔵
- ⑤東京の美術館所蔵
- ⑥ゴッホ美術館 (アムステルダム) 所蔵
- ⑦フィラデルフィア美術館 (アメリカ) 所蔵



2015年度教会目標

「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシヤ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

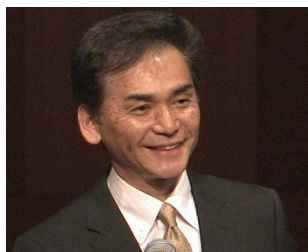
長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)



ライフライン

毎週土曜日 朝5:30~6:00 BSNテレビにて放送中です。

☆24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



8/1(土)ライフ・ラインのつどい in 北海道
「本当の自由と愛」お話:岩井基雄さん(写真)

北海道函館市で行った「ライフ・ラインのつどい」から、岩井基雄牧師による聖書のお話「本当の自由と愛」と、ソプラノシンガー・吉村美穂さんのコンサートの様子をお届けします。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区

豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: info@toyosakakyokai.com

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

